

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	◎	商店街（代表者）	・以前と違い、幅広い世代が観光で訪れており、平均単価も上がっていきとみている。その反面、冬の到来が少し早く、大雪など天候不順による人通りの減少を懸念している。ネット通販は好調だった前年並みで推移している。
	◎	コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスによる自粛の反動で消費動向が良くなると考える。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	・11月も宿泊は個人客が中心となっていて、日帰りの団体客も発生している。その結果、ほぼ前年実績に近い売上を確保できている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収束方向となれば期待大である。インフルエンザが流行するともいわれているが、今の落ち着いた状況が続けば、年末年始における客足の増加が期待できる。
	○	一般小売店〔精肉〕（店長）	・週末の来客数が見込める状態になってきており、その状態がずっと続いてくれれば、お歳暮や年末商戦で売上が上向きになると考えている。
	○	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・様々なイベントごとや年末年始で人の動きがあり、来客数が期待できるので今より良くなると考える。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま終息していけばかなり期待できる。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・来月以降も人出は期待できると考える。
	○	百貨店（販売促進担当）	・前年は大雪で道路が混乱し、客足に大きく影響したことに加えてコロナ禍のため非常に苦戦を強いられたが、本年は影響が少ないとみており、食品やリビング関連を中心に好調を予想している。アパレルは防寒を中心に動き、前年よりも回復するとみている。
	○	スーパー（総務担当）	・このまま新規感染者数が減少し続ければ、外出する人も増えると考ええる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況からみて、やや良くなる。
	○	乗用車販売店（役員）	・12月以降、自動車生産は通常ペースに復帰するとみられ、3月決算に向けて売上増加、経常利益増加の状態が進むと見込んでいる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新規感染者数が抑えられている状況が続けば、催事が多い12～1月における販売量の伸びが期待できる。年明け以降に旅行などの経済対策による後押しが加速すれば、ある程度先までの消費回復が期待できる。
	○	一般レストラン（店長）	・県や市の補助事業がかなり効いている感じがする。これにG o T oキャンペーンが始まれば一層の効果を期待したい。
	○	一般レストラン（統括）	・11月の状況が12月も継続するとみている。会社での忘年会需要は少ないが、少人数で忘年会はする傾向であり、県民割引など自治体施策の利用者も多く、12月末まではホテル、飲食店共に一杯の状況である。11月の好調を維持しつつ、更に客の動きが増えるの見込んでいる。
	○	観光型旅館（経営者）	・G o T oキャンペーンの話題が出てきており、このまま新規感染者数が落ち着いていけば宿泊者数も増加するとみているが、原材料を始め仕入価格の高騰を懸念している。
	○	都市型ホテル（役員）	・県民対象の宿泊割引がスタートし、今後は北陸3県へ対象が広がる予定もあり、観光客を中心に予約の増加を期待している。一方で生活用品や燃料費等の値上げによる消費意欲の抑制を懸念している。
	○	タクシー運転手	・新規感染者数が増加せずこのままの状態が続けば、年末年始には酒を飲む機会が増え、人出が見込める。さらに、足元が悪くなることからタクシー利用が増加し、景気が回復するとみている。
○	住宅販売会社（従業員）	・木材の価格高騰が落ち着き、徐々に受注も増加すると見込んでいる。	
□	商店街（代表者）	・ここに来てメインストリートの店舗撤退が相次ぎ、商店街としての集客力が落ちてきている。コロナ禍が始まって2年余りで、もう限界の店が多いようにみえる。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・せっかく外出や消費行動が回復し活発化してきたところに、空港検疫で国内初感染者が確認された新型コロナウイルス新変異株が脅威である。2～3か月後のバレンタイン商戦が心配である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・現在実施している県の消費喚起策が終了する来月以降は、消費マインドの低下と県外への旅行や買物などに消費者の行動が移行する可能性があるともっている。客の購買動向は、旅行やモチベーション需要での購入だけでなく、しばらく買ってないから久しぶりに購入するという声も聞いている。よって、現在の消費行動は一過性の可能性があり、現時点では本格的な改善傾向とは考えにくい。3月からの春の新生活需要の購買行動をみる必要がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・年末年始の新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきているが、第6波への懸念もあり、肉食需要がもう少し続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・事業の存続が極めて難しい状況が数年続いている。経営側としては、売上が減少傾向のなかでも、最低賃金の引上げによりアルバイトの給与は上げざるを得ず、正社員の給与を抑制しなければ事業の存続ができない状況である。正社員の基本給を減らすのではなく、ボーナスや出来高によるインセンティブが出せないため正社員の報酬が減少しており、正社員のやる気といった面で極めて深刻な状況となっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・また新型コロナウイルス新変異株が発生している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の出現で消費の回復は不透明な状況になり、今後はその拡大が心配されることから安心できない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・今までの自粛等の経験や学習したことにより、新たな状況に適應してきたように見えるが、まだまだ先行きに不透明感がある。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（本部）	・緊急事態宣言が解除されても、来客数が伸びてこない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・自動車メーカーが減産を発表したので、3月までは商品不足の状況が続くとみており、変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・タイヤ交換等のサービス部門の入庫はかなり多くなっているが、新車販売に関しては、依然として入荷状況が悪い。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（役員）	・新車納車の遅れ、ガソリン単価の高騰による不安感から業界では明るい兆しがみえない。新規感染者数は激減しているが逆に反動が怖く、コロナ禍で外出や催事の集まりを自粛する傾向が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・12月はお歳暮の時期であるが、今のところは余り期待できないと考えている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・来年の4月以降にならないと、一般団体客の動きはでないともっている。Go To Travelキャンペーンが始まったとしても個人旅行の動きのため、旅行代理店の売上への効果は限定的だと考える。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの第6波が来るまでは、このままの景気が続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（職員）	・当社が扱う販売商品で買換え需要が活発になるまでには至っていない。また、半導体不足から商品の調達量も十分でない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新機種に期待していたが大きな変化はなく、前年と比べても変わらずに推移している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・在庫納品のめどがある程度立たないと販売ができないため、売上也伸び悩むとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・3か月後は例年商戦期が徐々に始まる時期に当たるが、新型コロナウイルスの影響で前年同様、契約者数においてはそこまで伸びるとは考えていない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・世の中は新型コロナウイルスの影響による制限の緩和が進んでいくとみているが、通信事業関連の動向をみる限り、大きな変動要素は見受けられない。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（役員）	・新型コロナウイルスの第6波が発生するかどうかという点や、Go To Travelキャンペーンの再開時期がまだ不透明であることなどから、全体としてはどちらともいえない。

	□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの第6波のおそれはあるが、3回目のワクチン接種も始まり、消費行動は活発になる。
	□	住宅販売会社（営業）	・住宅に関する景気刺激対策が具体的に示されない限り、客の動機付けが進まない。
	▲	スーパー（仕入担当）	・年明けから商品の値上げが控えている。今回はかなり大幅な値上げとなるため、業績の悪化を懸念している。
	▲	コンビニ（店舗管理）	・特需やリベンジ消費がやや落ち着き気味となる。現況がやや出来過ぎと考える。
	▲	家電量販店（店長）	・今回の給付金には年齢制限があり、家電の購入などには回らない。
	▲	家電量販店（店長）	・コロナ禍は落ち着いてきている。来客数は前月と変わらず、前年の巣籠り需要のときに比べると減少している。
	▲	住関連専門店（役員）	・国内での新型コロナウイルスによる規制が緩和されたと安心したが、新型コロナウイルス新変異株の拡大など新たな懸念材料が出てきている。これに加えて当社の状況は、消費が外に向き始めるとますます厳しくなる。
	▲	高級レストラン（スタッフ）	・現在は県民割引の利用が盛況だが、1月末で終了するのでその反動があるとみている。
	▲	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の状況次第であるが、新型コロナウイルス新変異株が出るなどマイナス要素もあり、なかなか期待できない状態である。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宴会場での忘年会や新年会がほとんどない。レストラン部門で少人数の忘年会や新年会はあるが、売上は宴会場に比べて少ない。宿泊部門はGo To Travelキャンペーンの開始が遅れたため、1月の宿泊はキャンセルや催行中止がかなり出ている。2月は今のところキャンセルは出ていないが、新型コロナウイルスの感染再拡大が心配である。
	▲	パチンコ店（経理）	・景気回復策など適切な施策がない。ガソリンや物価上昇などマイナス要因が増えている。
	▲	その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人）	・ここに来て、重油や軽油、ガソリンといった燃料価格の上昇が水道光熱費に大きく響いてきている。冬場に利用客が減ってくるとダブルパンチである。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・今までの日常が大きく変わりそうなので、会社も大きく変化する必要がある。リフォーム需要の勢いに陰りがみえてきており、今後が心配である。
	×	スーパー（店舗管理）	・新規競合店が出店する。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—
	○	化学工業（総務担当）	・今後受注量が伸びてくる予定である。
	○	一般機械器具製造業（総務担当）	・自動車、電子部品、半導体業界が依然として好調である。そういった業界に向けた機械の受注量が现阶段でも高水準であり、今後の需要もまだ増える余地がありそうである。
	○	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、旅客、宿泊、飲食業の売上が増加傾向にある。それに伴い関連業種の受注も増加している。一方、原油の価格高騰や円安進行といったコスト増加による収益への影響を注意深くみていく必要がある。
	○	司法書士	・事業承継関連やコロナ禍での売上減少対策の補助金事業そのもの、若しくは補助金や助成金の申請手続についての依頼が多い。
	□	繊維工業（総括）	・受注は全体としては回復基調にあるものの、原材料価格の高騰が収益を圧迫している。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界各国の新型コロナウイルスの感染状況もなかなか収まらず、日本でも第6波への懸念があり、個人消費はなかなか本格的に回復しないとみている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注状況から変わらないと考える。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	・企業の事業活動再開により、設備投資関連部品の需要増加、更に移動手段としてのオートバイ需要の高まりから、関連部品の受注が大きく伸びている。一方で自動車関係は、半導体供給不足等の影響により、需要は高水準にあるもののメーカーの生産調整が入り、受注が低迷している。
	□	精密機械器具製造業（役員）	・回復基調にあったところだが、ここに来て新型コロナウイルス新変異株の話があり、なかなか先が読めない状況である。
	□	輸送業（役員）	・先行きを見通せる要素がない。

	<input type="checkbox"/>	輸送業（管理会計担当）	・回復傾向にあるが、新型コロナウイルス新変異株の動向次第という不確定要素があることから、変わらないと考える。
	<input type="checkbox"/>	通信業（営業）	・新型コロナウイルスの影響は落ち着きつつはあるものの、いまだ予断を許さない状況であり、大きな受注は望めない。ただし、飲食業については制限が解除されたため、通常の集客に戻れば企業収益も増加に転じ、投資等に期待したいところである。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	・本格的な経済活動が再開しており、年末年始に向けてより経済が活発化すると期待しているが、新型コロナウイルス新変異株が流行の兆しをみせており、引き続き予断を許さない状況となっている。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・いろいろな情報があるなかで、不動産業界の半数はまずまずの状況だが、残りの半数は活発な話を聞かない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（経営企画）	・受注量や販売量に大きな心配はないが、原材料や燃料などのコストアップが経営を圧迫し始めており、対策を打たねばならない状況にある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・原油の価格高騰により、年間利益の8割程度を失う予想である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（役員）	・原材料価格上昇の影響が大きく、依然として不透明な状況である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	税理士（所長）	・半導体不足に加えて円安の問題がある。円が非常に過小評価されているので輸入価格が高くなっている。他の国に比べて部材価格が高いことから材料費が値上がりしており、中小企業では人件費につながる付加価値を確保できないことが決算書からみて取れる。今後が非常に心配である。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>		
雇用 関連 (北陸)	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ある程度新型コロナウイルスの感染が抑えられている状況のため、年末年始の消費行動が活発化すると考える。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・ワクチン接種の3回目が始まることから、やや良くなると考えている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着き、求人、求職共に増加傾向ではあるが、北陸ではこの先降雪や積雪が予想されるため、ある程度条件が一致しないと求職者は就業しない傾向が強くなっている。自家用車による就業場所までの通勤距離は、冬場における北陸特有の希望条件である。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の動きがない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（営業）	・正直なところ分からない。新型コロナウイルス次第である。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しても、コロナ禍前の状態に回復している事業所はほとんどなく、求人数の増加には時間を要すると考える。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・年末年始を過ぎて新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか分からない。最近の燃料高、原材料高の影響もどこまで続くか懸念している。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	・製品不足や部品不足が継続中で営業活動がやりにくく、すぐには改善が期待できないため、客を待たせる状態が続いていると聞いている。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況の変わる要素や気配が見受けられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>		